



経済学部

<https://www.econ.keio.ac.jp>



経済学部公式ウェブサイト
www.econ.keio.ac.jp/



入試案内 (サイトアクセス用 QRコード →)

慶應義塾大学入学センター TEL. 03-5427-1566

<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/>



交通アクセス (サイトアクセス用 QRコード →)

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/>



日吉キャンパス

〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1

日吉駅(東急東横線、東急目黒線、東急新横浜線／横浜市営地下鉄グリーンライン)
徒歩1分

※東急東横線の特急は日吉駅に停車しません。

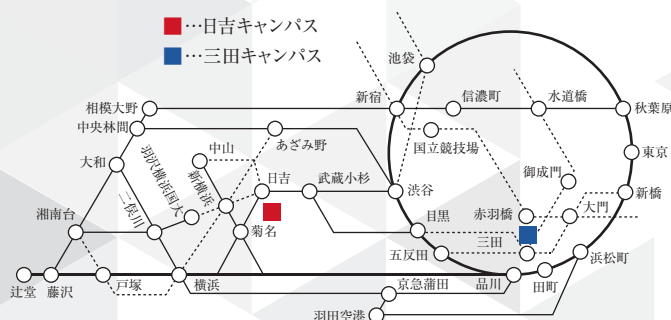
三田キャンパス

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

田町駅(JR山手線／JR京浜東北線)
徒歩8分

三田駅(都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線)
徒歩7分

赤羽橋駅(都営地下鉄大江戸線)
徒歩8分



お問い合わせ先 (サイトアクセス用 QRコード →)

<https://www.keio.ac.jp/ja/contact-us/>



TEL. 03-5427-1517(総務部)

電話受付時間 8:30～17:00(月～金)(原則)

Keio University



慶應義塾大学 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45



www.keio.ac.jp/

2023.06

慶應義塾大学

Faculty of Economics, Keio University

経済学部

学部案内

2024



Keio University

あなたの未来を拓きます

異なる入口

入試タイプ A (数学受験)

・英語
・数学
・小論文

入試タイプ B (地理歴史受験)

・英語
・地理歴史
・小論文

共通の出口

日吉キャンパス

経済学的
思考力を養う

三田キャンパス

学びを深化させる
経済5領域

■ 教養
■ 語学
■ 歴史
■ 数学
■ 経済基礎

■ 経済理論
■ 経済史
■ 経済政策
■ 世界経済
■ 環境・社会

異なる「入口」から経済学的思考力を養い、
経済学の専門分野を学ぶ「出口」は共通です

経済学部的一般選抜には、入試タイプA(数学利用)と入試タイプB(世界史または日本史利用)の二つの「入口」が用意されており、入試方式によって入学後の履修タイプが異なります。まず、日吉キャンパスでの第1・2学年では、より得意な分野に重点を置いて学習を始め、深い教養と経済学的思考の総合能力を養います。そして、三田キャンパスでの第3・4学年では、考える力を鍛えるための少人数教育が充実しており、かつ、幅広い専門領域から各自の関心に合わせた多様な学習が可能です。

未来を拓く

Future

「慶應経済人」と称された卒業生たちは、明治以降日本経済の発展に指導的役割を果たしてきました。今日の日本の経済人に期待されているのは、国際的に通用する学識と同時に、地球規模で生じている課題に対してリーダーシップを発揮できる能力です。経済学部は、このような世界を先導する新たな経済人の育成を目指しています。

広告
マーケティング

商社

製造

情報通信

金融

保険

証券

政府系
金融機関

官庁

進学

公認会計士

コンサルティング

日本における 経済学の魁

日本の経済学は、慶應義塾から始まりました。前身である慶應義塾大学部理財科が明治23(1890)年に創設されて以来、本学部は日本で最初の経済学部として理論と実証の両面で日本の経済学研究をリードしてきました。さらに慶應義塾建学以来の「半学半教」の精神にのっとり、本学部は自由闊達な校風の中で先進的な経済学教育を行い、数多くの優秀な「慶應経済人」と称される卒業生を世に送り出してきました。現在、本学部の卒業生は実業界を始めとして学界、政界、官界など様々な分野で活躍しています。



Admission Policy

入学者の受入れに関する方針

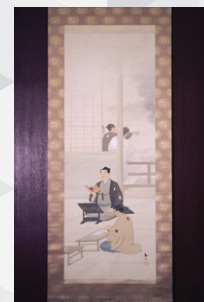
社会に積極的に関与する強い意志を持ち、自らの智力によって変化する社会を把握しようという気概をもった学生を求めています。また、学問的基礎に基づいて厳密に考える能力にすぐれると同時に、バランス感覚に富み、多様なものの見方を尊重できる人材の育成を目指しています。このような知性により社会の指導的役割を担える潜在力を備えた多彩な学生を受け入れたいと考えます。

History

慶應義塾大学 経済学部の歩み

1858 安政5年に創立

開塾 福澤諭吉数え年25歳



1890 理財科の設置

経済学部の前身の理財科が発足



1920 経済学部の発足

理財科から経済学部へ



1990 経済学部発足
100周年

国際シンポジウムを開催



2008 義塾創立150年

創立150年記念式典を開催



2016 PEARLの設立

9月にPEARL第一期生が入学



慶應で、世界で経済学を学ぶ

多様性を許す経済学部のカリキュラム

経済学部のカリキュラムは、学生一人ひとりの興味や目的に合わせて多様な履修の仕方ができるよう考えられています。たとえば、日吉キャンパスでの「英語セミナー」は、各教員が選んだテーマについて英語で学ぶ科目です。中級から特別上級まで、英語習得状況に合わせた履修が可能です。

4月入学

入試タイプA (数学受験)

- ・英語
- ・数学
- ・小論文

入試タイプB (地理歴史受験)

- ・英語
- ・地理歴史
- ・小論文

1年生

2年生

日吉キャンパス

2つの履修タイプで学びをスタート：教養を深める

第1・2学年では、教養科目のほかに、入試方式に応じて履修タイプA(経済理論・数学先習型)と履修タイプB(経済実態・歴史先習型)に分かれ経済の基礎を学びます。履修タイプAの学生は数学やミクロ経済学、履修タイプBの学生は経済史に重点を置いて履修します。

履修タイプBでも理系科目を学べます

地理歴史受験の場合は、履修タイプBを選択することになりますが、その場合でも必要に応じて数学の基礎知識を身につけられるように、選択科目を用意しています。

また、希望する学生は、履修タイプA・Bを問わず、東京工業大学の科目の履修も可能です。

学士課程

3年生

4年生

三田キャンパス

2つの履修タイプは三田で合流：専門科目を学ぶ

第3・4学年では、二つの異なる入口から入った学びは一つに合流し、同一のカリキュラムのなかで学びます。

経済学部の主な専門領域

- 経済理論
 - 歴史
 - 経済政策
 - 世界経済
 - 環境・社会
- 多岐にわたる専門領域から各自の関心や目的に応じて学びを組み立てます。

充実した専門教育担当教員

毎年、上記の専門領域で70前後の研究会(ゼミナール)が開講されています。

学士課程卒業

大学院 修士課程



修士課程修了
学士・修士を5年間で
修了することも可能。

PEARL

4年間英語で経済学を学ぶ 9月入学のプログラム

確かな経済学の知識を基礎に世界を舞台に活躍する、先導者の輩出を目的として設立されました。PEARL入学者は、筆記試験や面接を行わない、経済学部独自の入試によって選抜されます。



Global Alliance

● ダブルディグリー・プログラム

在学中に提携校に一定期間留学し、両校の修了要件を満たすことにより、卒業時に慶應義塾と提携校の2つの学位(学士)を取得します。現在の提携校は、フランスのパリ政治学院とイタリアのボッコーニ大学です。

● 学部・修士5年プログラム

3年間慶應に在籍し、その後の2年間で海外の提携校に在籍します。所定の要件を修めた経済学部生が慶應義塾大学経済学修士号と海外提携校の修士号を取得できます。HEC経営大学院(PEARL生のみ対象)の他、パリ政治学院、ボッコーニ大学、ケルン大学、ブランダイス大学、スティーヴンス工科大学と提携しています。

● 交換留学(経済学部独自枠)

大学全体の募集枠とは別に、独自の募集枠を設けて世界の諸大学へ交換留学生を派遣しています。現在、アメリカやヨーロッパ、アジアの18の国や地域の大学と協定を結んでいます。(2023年4月現在)

2023年度より 3.5年早期卒業制度を導入

2023年度以降の入学者を対象に、3.5年(7学期)在学すれば卒業できる早期卒業制度を導入しました。4月入学者(タイプAB学生)の海外大学院進学支援、9月入学者(PEARL学生)の日本での就職支援、経済学研究科と連携した3.5年+1.5年の内部学士・修士5年プログラムの実現を目的としています。



研究会(ゼミナール)

将来の財産を築く2年間

専門教育科目担当の各教員が、それぞれの専門分野について指導する少人数のクラスです。原則として2年間にわたり同じ教員の下で学び、卒業論文を作成します。

PCP (Professional Career Programme)

すべて英語で行う実践的な経済学教育

選抜された3・4年生を対象に、将来のキャリア形成に役立つ実践的な経済学教育を、英語の少人数クラスで行うプログラムです。PCPの履修科目は全て卒業単位として計算され、プログラム内の科目全てに合格した学生には、PCP修了証が授与されます。また、海外からの留学生も多数一緒に学ぶため、留学生との交流を通じて考え方の違いを実感できることも魅力です。

2022年度創設

DEEP (Data-driven Economics and Econometrics Programme)

データサイエンスの基礎と経済分析への応用を体系的に学びます。必要単位数を取得し、成果物を提出した学生に修了証が授与されます。

2022年度創設

FACTS (Fieldwork for Active Comprehension of Targeted Subjects)

フィールドワークをベースに仮説的論理構築能力を養成するプログラムです。必要単位数を取得し、成果物を提出した学生に修了証が授与されます。



研究プロジェクト

経済学にとらわれないテーマ設定が可能

学生が自ら選んだテーマについて、そのテーマに関連した専門を持つ経済学部の専任教員の指導の下、1年間で論文を完成させるコースです。徹底した少人数制がとられ、経済学にとらわれない幅広いテーマを設定することができます。社会科学のみならず、自然科学・人文科学といったさまざまな学術分野の研究が可能です。



Message
研究会(ゼミ)

01

研究会を通じ、データを正しく読み解く力が身に付きました

研究会では少人数で興味のある分野の理解を深め、卒業論文を執筆します。私は都市経済学を学ぶ直井道生研究会で、ミクロ経済学の理論を都市問題に応用し、データに基づく分析を行いました。実社会には多くのデータが存在していますが、自らの主観を取り除き、客観的にデータを読み解くことは簡単ではありません。実社会で起こる本質を理解するためには批判的に物事を捉え、判断する姿勢が必要です。こうした研究会の学びから、正しくデータを解釈し、自分の意見を持つことができるようになりました。また研究は難航を極めました。教授と日々議論を重ね、きめ細かなご指導をいただくことで、納得できる卒業論文を完成させることができました。



2021年度経済学部卒業生
(神奈川県・私立慶應義塾高等学校 出身)

Message
PCP

02

英語で本格的な経済学研究、国際人として活躍する準備を今から

学部2年次の交換留学経験から、日本でも英語で実践的に経済学を学ぶ機会を求めてPCP(プロフェッショナル・キャリア・プログラム)を受講しました。このプログラムでは様々な英語特殊科目で数量分析手法等を学ぶと同時に、自ら設定したテーマで研究・論文執筆を行いました。私は、3年次の共同研究で優秀な仲間と積極的に意見を出し合う力を、4年次の個別研究では最先端の研究に携わる教授から新たな知見を得ることで、論理的に考え、論文にまとめる力を存分に鍛え上げられたと思います。進学・就職などの道を進む上でも不可欠なスキルを英語で学ぶことで、学部時代から国際社会で活躍できるキャリアに向けた準備が出来たと考えています。



2021年度経済学部卒業生
(東京都・国立東京大学教育学部
附属中等教育学校 出身)

Message
研究プロジェクト

03

自分の興味分野を1年間とことん研究できる研プロの魅力

研究プロジェクトは、自身が興味のある分野について研究し、1年間で論文を執筆するプログラムです。私は大学入学当時より、文系ながらデータサイエンスという分野に興味を持ち、経済学部にながら履修できるデータ分析関連の授業を多く学んできました。その中で、授業のカリキュラムにとらわれず、自分の興味ある研究テーマを設定し論文を執筆できるこのプログラムに出会い、これまで学んできたデータ分析の手法を、データ分析とはかけ離れた「食」というテーマに適用するという面白い経験をすることができました。授業の枠にとらわれず自分の興味をとことん研究してみたい方は、ぜひこの研究プロジェクトを履修してみてほしいと思います。



2022年度経済学部卒業生
(神奈川県・神奈川大学附属高等学校 出身)

Message
Global Alliance



2021年度派遣

石田 智士

英仏両語の環境で家族のような仲間と助け合いながら学ぶ

外交関係に興味があり、政治分野に特化したグランゼコールで学びたいと考えて、パリ政治学院のダブルディグリー・プログラムに参加しました。幼少期、英仏バイリンガル環境を経験したため、「学校は英語、生活はフランス語」という点も魅力的でした。リーディング、プレゼンテーション、ディベートと学生が主体的に学ぶ機会が多く、1学年約160名の小規模キャンパスで、世界中から集まる家族のような仲間とともに刺激的な日々を過ごしています。

Message
Global Alliance



2021年度派遣

片岡 実鈴

格差社会の改善を目指す毎日の挑戦

私は幼少期をインドで8年間過ごし、幼い頃から様々な価値観と過酷な社会問題を肌で感じてきました。しかし、この果てしないグローバル社会においての知識や体験はまだ不足しています。パリ政治学院のダブルディグリー・プログラムでは、国境を意識することのない多様な仲間とともに学び、議論し、毎日が新たな挑戦です。インドでのカースト制度や貧困層の絶大な格差とそれに対する自分の無力さを糧に、将来は僅かながらも社会の不平等を改善するための力になりたいと考えています。

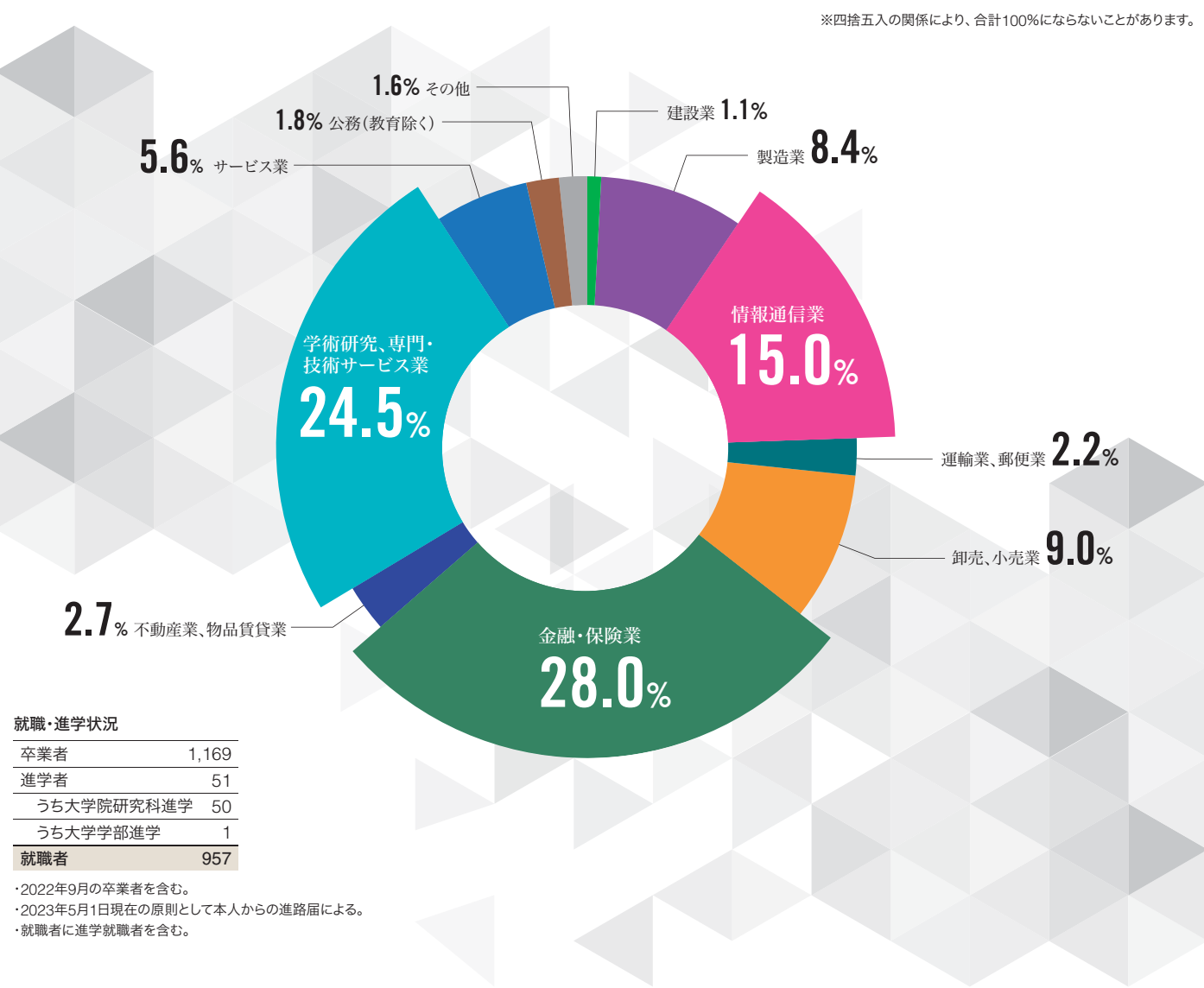
卒業後の進路

本学部の卒業生の就職率は高く、2022年度卒業生のうち1/4強が金融・保険業に、次いで、学術研究、専門・技術サービス業、情報通信業などに就職しています。

一方、在学中から公認会計士や国家公務員総合職試験の準備をする学生もいます。

また、大学院経済学研究科への進学も開かれており、他大学院研究科も含め50名が修士課程へ進学しました。

業種別進路



就職・進学状況

卒業者	1,169
進学者	51
うち大学院研究科進学	50
うち大学学部進学	1
就職者	957

・2022年9月の卒業者を含む。
・2023年5月1日現在の原則として本人からの進路届による。
・就職者に進学就職者を含む。

就職先上位ランキング ※5名以上就職先

2023年5月1日現在

1 有限責任監査法人トーマツ	28	12 楽天グループ	13	25 丸紅	8	37 キーエンス	5
2 EYストラテジー・アンド・コンサルティング	24	14 リクルート	12	27 EY新日本有限責任監査法人	7	37 シティグループ証券	5
3 三井住友信託銀行	23	15 デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社	11	27 三井物産	7	37 ソフトバンク	5
4 PwCコンサルティング合同会社	19	15 日本生命保険相互会社	11	27 明治安田生命保険相互会社	7	37 電通	5
5 東京海上日動火災保険	18	15 みずほ銀行	11	30 伊藤忠商事	6	37 ニトリ	5
6 アクセンチュア	17	18 日本アイ・ビー・エム	10	30 住友商事	6	37 日本銀行	5
7 大和証券	16	18 野村證券	10	30 東レ	6	37 日本ロレアル	5
7 ベイカレント・コンサルティング	16	20 SMBC日興証券	9	30 博報堂	6	37 野村総合研究所	5
9 エヌ・ティ・ティ・データ	15	20 損害保険ジャパン	9	30 東日本電信電話	6	37 三井住友海上火災保険	5
10 有限責任あずさ監査法人	14	20 富士通	9	30 三菱UFJ銀行	6		
10 三井住友銀行	14	20 みずほ証券	9	30 三菱商事	6		
12 デロイトトーマツコンサルティング合同会社	13	20 三菱UFJ信託銀行	9	37 PwCアドバイザリー合同会社	5		
		25 ゴールドマン・サックス証券	8	37 アビームコンサルティング	5		
				37 アマゾンジャパン合同会社	5		



経済学部長 駒形 哲哉

「独立自尊」の精神で 課題解決に挑む

慶應義塾大学経済学部は、経済学を専攻する学部としては日本で最も長い歴史を有しています。1890年に大学部理財科として開設されて以来、日本の経済学研究をリードしてきました。そして学ぶ者と教える者との分を定めず、互いに学び合い教え合う「半学半教」の精神にもとづきつつ、多くの優れた卒業生を、ビジネスの世界をはじめ、学界、政界、官界など多様な分野に送り出してきました。

慶應義塾大学経済学部は、内外の変化に対応しながら、社会的要請にこたえ、経済社会を先導する人材を育成するための教育プログラムの絶えざる進化に取り組んでいます。

21世紀に入ってからは、学部独自の留学制度の拡充、海外の大学とのダブルディグリーおよび学部・修士一貫教育のプログラム、そして英語で全授業を行うプログラムの創設など、グローバル化への対応に注力してきました。また、規模の大きな学部でありながら、「半学半教」を体現する少人数教育にも力を入れています。さらに2022年度からは、データサイエンスやフィールドリサーチに関する履修プログラムを開始しています。加えて、2023年度入学者より、海外の大学院への進学を容易にすることや、大学院経済学研究科との連携により学士と修士の学位を5年で取得できるようにすることを目的に、早期卒業制度を導入しています。

ただし、ここでより強調しておきたいのは、慶應義塾大学経済学部の本当の競争力が、プログラムそれ自体というよりも、優れた教員を擁していることにあります。これは企業の競争力の源が結局は人にあることと同じです。本学部のスタッフは、経済学の先端的な研究で学界をリードし、実社会にも有益な貢献をなしています。そして語学や広く教養に関わる多様な分野における大学教育のエキスパートが、皆さんの成長を支えます。

近年、私たちは感染症の流行による混乱、社会的な分断や対立という問題に直面してきました。また、多様性を重視する社会への移行期にあって、これまでにない問題の解決に取り組むことが求められています。

そうした時、私たちは何を指針とすればよいのでしょうか？ 慶應義塾の基本精神である「独立自尊」という考え方こそ、その指針となると私は考えます。「独立自尊」とは「自他の尊厳を守り、何事も自分の判断・責任のもとに行うこと」を意味します。これまで経験したことのない、解のない課題に取り組み、望ましい社会を築くための指針が、まさにここにあるのです。

経済社会が大きく変化するなかで、皆さんは未知への挑戦をしなければなりません。しかし、皆さんが大学でやるべきことは不変です。

中国の古典『菜根譚』に次のような記述があります。「磨礪は当に百煉の金の如くすべし。急就すれば還養に非ず」。これは、人の修養は磨き上げるようにしなければならず、速成では身につかないという意味です。皆さんが社会に出て各方面で活躍するためには、学問への取り組みを核に、自らを徹底的に鍛える必要があります。そうした機会を私たちは提供し、皆さんの期待に応えていきます。

教員一覧

日吉キャンパスには、教養教育を担当する理系・文系のさまざまな専門分野の教員が所属しています。

三田キャンパスには、専門教育を担当する多彩な専門領域の教員が所属しています。

2023年4月1日現在

	専攻	職位	氏名	専門領域	
外国語科目	英語	教授	松岡 和美	理論言語学(生成文法)、言語獲得研究、手話学	
			バティエ、ロジャー	古代歴史、ギリシアとローマの世界、欧州の歴史と考古学	
			星 浩司	理論言語学、生成文法理論(比較統語論)	
			石井 明	音楽学(西洋音楽史)、とくに17・18世紀の西洋音楽	
			鈴木 亮子	語用論(歴史語用論)、談話分析、機能言語学、社会言語学	
			柏崎 千佳子	社会学:市民権論、ナショナリズム、移民政策など	
			ノッター、デビッド	歴史社会学、文化社会学、近代家族論、恋愛論	
			佐々木 由美	コミュニケーション学(対人・異文化コミュニケーション)	
			永井 容子	19世紀英文学(ヴィクトリア朝小説と演劇)	
			迫 桂	英語英文文学(20世紀後半以降のイギリス小説)	
			柳生 智子	アメリカ経済史、アメリカ研究	
		准教授	志村 明彦	学校英語教育におけるカリキュラムの開発・維持・評価	
			鎌田 由美子	美術史学(特にイスラーム圏の美術について)	
			アートル、ジョン	文化人類学、考古学の民族誌、文化資源学、観光人類学など	
			光田 達矢	ヨーロッパ社会文化史	
			三原 龍太郎	文化人類学、創造産業論、アニメ研究、日本研究	
			ソウ、クリストファー	ジェンダー論、男性学、社会学、日本研究	
	ドイツ語	教授	七字 真明	近・現代ドイツ文学、ドイツ美術史	
			山本 賀代	近・現代ドイツ文学(特にゲーテ)	
		准教授	山口 祐子	現代ドイツ文学・文化研究(20世紀を中心に)	
			デーゲン、ラルフ	外国語教育学(ドイツ語教授法)、翻訳	
	フランス語	教授	米山 かおる	日独社会比較、移民研究、異文化間教育	
			前島 和也	言語学、フランス語学	
			新島 進	フランス文学(ルーセル)、SF、独身者機械芸術	
		准教授	中川 真知子	20世紀フランス文学・思想	
			福田 桃子	フランス近代文学・フランス映画	
			ソッティーレ、マルコ	社会学(移民研究)、歴史学(植民地教育研究)、言語学(フランス語教授法)	
専任講師		大嶋 えり子	フランス政治、移民政策、植民地支配の記憶		
		山本 武男	20世紀フランス文学、ジャポニズム		
		中国語	教授	村越 貴代美	中国宋代の詞と音楽
千田 大介	中国通俗文芸・漢学文献情報処理				
清部 良恵	中国古典文学・唐代小説				
准教授	吉川 龍生		中国近現代文学、中国映画史		
	根岸 宗一郎		中国近現代文学、比較文学		
スペイン語	教授	呉 茂松	現代中国論、現代中国における擁護運動		
		菅野 智博	中国近現代史、東アジア史		
		鷗浦 恵	中国古典文学(白話小説)		
	准教授	八嶋 由香利	スペイン近現代史(特にカタルーニャとキューバの関係史)		
		工藤 多香子	スペイン語圏カリブ海地域(特にキューバ)の文化・社会の研究		
総合教育科目	教授	丸田 千花子	スペイン現代文学		
		小原 正	スペイン植民地期のメキシコ史、特に先住民の買納と人口		
		ミヤン・マルティン、アルベルト	日本教育史(明治時代)、日本近現代における異文化(英語圏・スペイン語圏)翻訳史		
	専任講師	加藤 伸吾	スペイン現代史:民主主義に関する言説史、歴史認識		
		佐藤 正樹	スペイン植民地期の南米アンデス史		
数学	教授	戸瀬 信之	数学(代数解析、微分方程式、多変数関数論)		
		桂田 昌紀	解析的整数論・ゼータ関数論		
		池田 薫	数理解物理学(非線形可積分系)		
		宮崎 直哉	幾何学(微分幾何学、大域解析学、非可換幾何学)		
		森藤 孝之	数学(トポロジー)		
	准教授	石川 昌治	数学(特異点論、多様体の幾何構造)		
		河備 浩司	数学(確率論、確率解析)		
		古宇田 悠哉	数学(トポロジー)		
		心理学	教授	中野 泰志	実験心理学、特別支援教育、ヒューマンインタフェース
			地理学	教授	長田 進
准教授	丹羽 雄一			自然地理学、地形学、第四紀学	
社会学	准教授		湯川 やよい	社会学(ジェンダー・セクシュアリティ、質的社会調査研究など)	
	生物学		教授	福山 欣司	行動生態学・保全生物学
有川 智己		コケ植物の系統分類学			
准教授		糟谷 大河	菌類(きのこやカビなど)の系統分類学、多様性生物学		
物理学	教授	青木 健一郎	理論物理学:主に素粒子物理、場の理論、非均衡の物理		
	化学	教授	井奥 洪二	生体材料学・セラミック材料学・環境科学	
助教		田野 千春	化学(有機化学)		
専門教育科目	国語文学	教授	津田 真弓	日本古典文学(主として江戸小説)	
		教授	須田 伸一	理論経済学、一般均衡理論、数理経済学	
	経済理論	前多 康男	マクロ経済学、金融経済学		
		尾崎 裕之	不確実性の経済学、およびそのマクロ経済学への応用		
		藤原グレーヴァ 香子	非協力ゲーム理論およびミクロ経済学		
		石橋 孝次	ミクロ経済学・産業組織		
		橋判 享	ゲーム理論(協力ゲーム)、数理経済学		
		坂井 豊貴	メカニズム・マーケットデザイン、社会的選択理論		
		経済学	教授	藤原 一平	マクロ経済学、国際金融論
			廣瀬 康生	マクロ経済学、金融政策	
栗野 盛光	マーケットデザイン、ミクロ経済学、ゲーム理論				
玉田 康成	契約理論・産業組織論・ミクロ経済学				
津曲 正俊	経済理論、契約理論				
河合 啓一	情報の経済学・契約理論・組織の経済学				
千賀 達朗	マクロ経済学				
松田 一茂	マクロ経済学、労働経済学				